

木曽ヒノキを中心とした有利採材について

付知営林署 福田 二郎

1. 目 的

近年当署の収穫地が奥地化に伴い、資材内容が低下し、特に本年の事業地は、資材全体に占める木曽ヒノキの割合が64%、中でも広葉樹が25%もあり、収入確保に困難をきたす状態である。従って少ない木曽ヒノキを有利販売に結びつけられないか、林地を再踏査したところ、大径及び中径の良木が点在していることに着目し、この良木を、どのように採材すれば有利販売につながるかの具体的対策を、署の販売対策委員会で審議し、実行に移した結果を報告する。

2. 内 容

(1) 具体的に取組んだ事項

ア 大径良材の採材

末口径50cm以上の通直材は、10mの材長に採材し、単木販売した。結果は価格的に約30%増の有利販売ができた。(表-1参照)

イ 柱適材の採材

柱適材木は6mに採材し、販売した結果、定尺採材より約75%増の有利販売ができた。

(表-2参照)

ウ 門柱材の採材

過去に町村等から観光看板、門柱など依頼のあったことに着目し末口径20cm、材長3m程度の多節材(四材面)は枝付材として試験的に生産し、複数本で販売した。これらは一般用材としては低価格のものしかないところから、資源の有効活用と収入面に有利であった。

エ 根株の採材

伐倒後の根上り大径根株を地際より切断し、生産出材して公売に付した。これも資源の活用と収入確保につながった。

オ 木曽ヒノキ枝条の採材

次項に関連し、人工林材に近い枝類については、0.6~2.1mの範囲で採材し、概数契約販売によって資源の有効活用に努めた。

カ 広葉樹の採材

付加価値の低い、広葉樹の用材及びパルプ材は、概数契約により実行し、(良材について

は4.3 mに採材し貯木場へ出材した)資源の有効活用と、造林事業の整理地権への省力化にも寄与できたと考える。

3. ま と め

以上の実行結果から収入の増と、資源の有効活用とが図られ、有利採材の重要性が現場全職員の1人ひとりに、再認識された事が大きな収穫であった。今後も改善計画を進める中で、減少しつつある木曾ヒノキをいかに有利に採材し、収入の増大に結びつけるかが現場に与えられた使命であると考え。常に新しい発想を生み出し、有利採材に努め資源の有効活用と、造材歩止りの向上、合せて生産性向上に努力を続ける覚悟である。

表一2 木曾ヒノキ6 m長材採材、販売実績表(S 56年度)

6 m 採材、販売実績					定尺採材した場合の 販売見込額	差引利益
径 級	品 等	本数	材 積	販 売 額		
20～26 cm	3・4	3	1,077 m ³	227,000 円	146,000 円	81,000 円
22～28	2・3	3	1,197	469,000	312,000	157,000
22～26	3・4	7	2,455	666,000	321,000	345,000
計			4,729	1,362,000	779,000	583,000

表一 1 昭和 56 年度 木曾ヒノキ長材、採材販売実績表

長		材				定 尺				採 材		差引利益 円
長級 m	径級 cm	品等	本数	材積 m ³	販売額 円	長級 m	径級 cm	品等	本数	材積 m ³	販売額 円	
10.0	48	④	1	2,601	1,419,000	5.0	54 48	③ 4	1 1	1,458 1,152	1,044,000	375,000
10.0	60	④	1	3,969	2,379,000	5.0	66 60	③ 4	1 1	2,178 1,800	1,882,000	497,000
10.0	56	④	1	3,481	1,759,000	5.0	62 56	③ 4	1 1	1,922 1,568	1,596,000	163,000
8.0	74	④	1	4,621	2,189,000	5.0 3.0	78 74	④ 4	1 1	3,042 1,643	1,682,000	507,000
10.0	60	④	1	3,969	2,104,000	5.0	66 60	③ 4	1 1	2,178 1,800	1,873,000	231,000
8.2	50	③	1	2,217	1,552,000	5.0 3.2	54 50	② 3	1 1	1,458 800	1,192,000	360,000
10.0	64	③	1	4,489	5,089,000	5.0	70 64	② 3	1 1	2,450 2,048	2,894,000	2,195,000
8.0	54	④	2	5,018	2,345,000	5.0 3.0	58 54	③ 4	2 2	3,364 1,750	2,040,000	305,000
8.2	50	④	1	2,217	1,428,000	5.0 3.2	54 50	③ 4	1 1	1,458 800	872,000	556,000
8.2	54	④	1	2,572	1,569,000	5.0 3.2	58 54	③ 4	1 1	1,682 933	1,030,000	539,000
計			11	35,154	21,833,000				22	35,484	16,105,000	5,728,000

(注) 定尺採材販売見込額は、販売予定価格を30cm上、当月公定値開率に乘じて算出する。